



教育目標：やさしく かしこく たくましく



❖ 学校評価 ～ご協力ありがとうございました～

昨年11月に本年度の本校教育に関するアンケートを実施しましたところ、多くの保護様からご回答をいただきました。ありがとうございました。本校では学校教育目標に沿った16問と小中一貫にかかる1問の計17の設問で児童・家庭・教師それぞれから回答を収集しています。この結果をもとに校内で学校評価を行うとともに、先日行われた第2回学校評議員会でも話し合いが行われましたのでお知らせします。

※「あてはまる(4点)」～「あてはまらない(1点)」で回答。おおむね評価できる目安として平均値2.80を設定し、それ未満は下線で表示しています。

種類

①

やさしく

に沿う設問

項目	【設問内容】	児童	家庭	教師
1	自分から気持ちのよい挨拶をしている	3.22	3.03	<u>2.64</u>
2	家庭(学校)での決まりが守れている	3.28	2.81	<u>2.64</u>
3	自分をかけがえのない存在と思っている	3.30	3.39	2.96
4	家族(学級)の一員として役割を果たしている	3.17	3.12	2.92
5	楽しく学校に登校している	3.69	3.48	3.16
6	素直に「ありがとう」が言える	3.62	3.42	3.12

多くの児童が楽しく学校生活を送ることができていますが、一人一人違う性格の人間が同じ場所で生活しているとさまざまな問題が起きます。我々は日々の会話や作文、学期ごとに実施するアンケートを活用しながら児童の様子を把握し、定期的な生活指導委員会や校内支援委員会において全職員で共通理解を図っています。一方で悩みを抱える児童について情報は共有できても十分な支援につながっていないことも考えられるため、機会をとらえて積極的に家庭との連絡を行っています。

あいさつは人と人をつなぐとても大切なはたらきがあります。児童にはその大切さを教えるとともに、大人が率先してあいさつをする姿を見せ、できている子をほめるなど学校生活のあらゆる場面であいさつを励行します。委員会による取組も活用して、児童自ら発信する取組へと変容させていきます。

きまりについては道徳や学級指導を通じて、なぜきまりがあるか、何のためのきまりかを考えさせるなどの粘り強い指導、児童と向き合った指導を行っていく。「きまりがあるから守る」という受け身の姿勢ではなく、きまりの必要性を理解することで社会の一員としての自覚を持たせたいと考えます。

「自分はかけがえのない存在である」と思えることは生きていく上での心の拠り所となります。自分に自信が持て、心を強くしてくれます。学校では学ぶことで、いろいろなことができるようになる、それは自分に自信を持つことにつながります。我々も個に寄り添う指導を心がけています。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなども活用しながら児童を多面的に見守っていきます。しかし一番大切なのは「愛される」こと。これはご家庭でなければできないことです。たっぷりと充電してあげてください。

項目	【設問内容】	児童	家庭	教師
7	学習の準備を自分でしている	2.94	3.08	2.68
8	進んで読書をしている	2.72	2.38	2.72
9	学校の宿題やそれ以外の学習を自分から進んでしている	3.06	2.80	2.64
10	話をしっかり聞くことができる	3.19	2.94	2.68
11	自分の考えや意見を話すことができる	2.91	2.59	2.48
12	本やインターネットで調べたりまとめたりしている	3.01	2.89	3.04
13	学校で習った内容が理解できている	3.61	2.95	2.76

高岡小学校では読む力の素地につながるよう、読書活動の推進と学校図書館の充実を図っています。学校の休み時間や家庭で読んだ本を記録する活動として、高岡小学校では「読書でGO!GO!」という取組を継続しています。さらに、1・2年生と特別支援学級の児童を対象に毎月ボランティアの方による朝の読み聞かせを行い、様々な種類の本にふれる機会を設けています。非常勤ではありますが、学校司書も配置されており、図書の日や図書だよりを通して本と児童とをつなぐ役割を担っています。

我々は授業改善の観点として、答えを重視することよりも学びの過程を大事にし、人の考えを生かして学ぶ児童の育成に取り組んでおり、全職員が相互に授業実践を参観する研修を行っています。一方で毎年6年生を対象に実施されている全国学力・学習状況調査においては記述問題に課題があり、書くことに苦手意識がある児童もいることが見受けられます。そこで、毎週、火・水・木曜日、朝8時25分から8時40分に実施している国語の基礎的基本的な短時間学習(高岡タイム)では、計画的に「書く」「読む」「話す・聞く」学習が行えるよう、学期ごとに「高岡タイム推進委員会」で内容・方法を検討してきました。今後も目的や意図に応じて書く力が身につくよう、さらに取組の充実を図っていきます。

三者の平均値を並べてみると教師の値の低さが目立ちますが、これは教師が自らの指導を振り返った自己評価でもあり、また児童がさらに成長する期待を込めて評価していることが理由です。

項目	【設問内容】	児童	家庭	教師
14	体を動かして遊んだり、運動したりしている	3.48	3.21	2.92
15	好き嫌いなく食べている	3.25	2.90	2.88
16	安全に留意して生活している	3.33	3.49	2.96

児童は、休み時間には意欲的に運動場で遊んでいます。引き続き運動委員会が行う不定期の企画も利用して、外遊びを体力向上や運動の習慣化に結び付けたいと考えています。また、中間休みは20分間という長めの時間を確保するとともに、全児童が活動できるように可能な限り行事をいれないようにします。

児童それぞれ苦手意識のある食材はありますが、給食は様々な食材や料理を知る機会でもあります。幸い本校には栄養教諭が配置されていますので、栄養教諭を中心に、食育や給食委員会の放送などを計画することで、児童は食材や給食に関して関心を持つことができました。バランスのよい食事はこれからの長い人生を健康的に生きるために欠かせないものです。このような取り組みにより、児童が自分の

体に入れるものに関心を持ちながら生活していくことを願っています。また、保護者の皆様に対しましては、給食試食会などの機会や給食だよりなどを通して取り組みへのご理解に努めて参ります。

P T Aや地域の方々に支えられて、児童は安全に登下校できています。登校時の旗当番、下校時のヘルパー・見守り隊の活動に、深く感謝しています。また、平日のみならず休日の児童の安心・安全につきましても保護者の目、地域の目が大切です。今後も児童が健やかに育っていくことができますように、ご協力をお願いいたします。

○小中一貫目標 にかかると設問 ※みだしなみを整える・そうじをする・あいさつをする・じかんを守る

項目	【設問内容】	児童	家庭	教師
17	「みそあじ」を意識して生活している	3.13	2.76	2.72

高丘中校区では様々な取組を小中が連携して行っています。職員同士は三校で推進委員会を組織し取り組んでおり、夏季休業中には全職員が参加する三校合同研修会を開催し、小中9年間を見通した児童生徒理解についての研修を行っています。また、地域においても三校交流会を定期的に行い、地域で子どもを育てようという意識を高めています。小学校においては、高丘中学校ブロックの取組である「みそあじウィーク」「家族ふれあいデー」等を活用し、小中一貫教育で目指す子ども像、「みそあじ」を意識した望ましい生活習慣について、小中3校で連携しながら家庭に働きかけていきます。

お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。

この結果をもとに校内で学校評価を行い、来年度の学校運営、授業改善の参考にさせていただきます。今後も、保護者や地域の皆様と共に児童一人一人の力を伸ばし、活力のある地域に開かれた学校づくりを推進していきたいと考えております。健やかな児童の育成のためにご理解、ご協力いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

